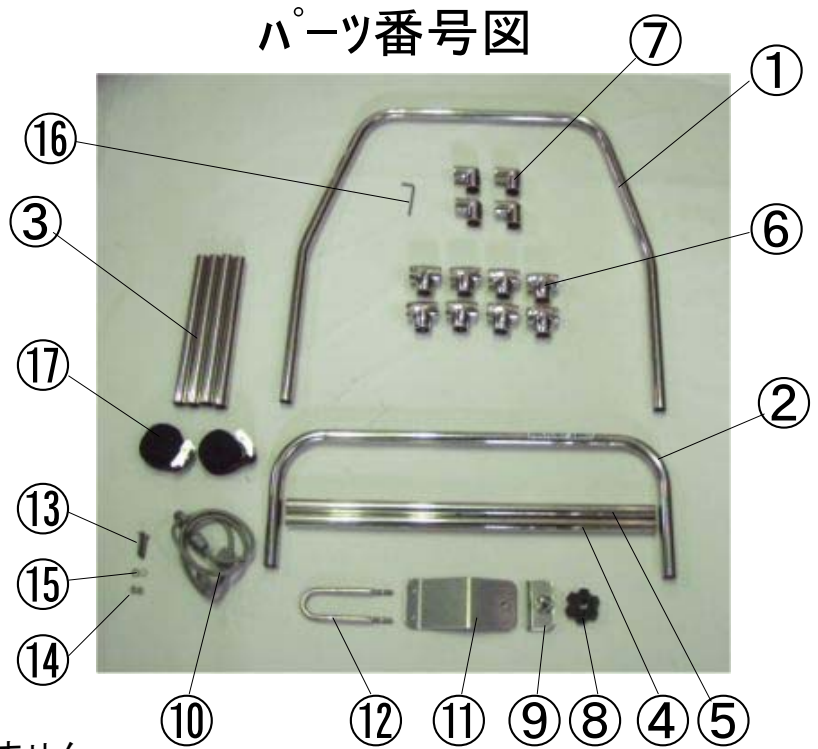




完成写真 写真はJL3500FX2

パーツ番号図



⑩、⑱、⑲はJL3600FX2には付属されません。

ラック本体の組立



**A** <後フレームにパーツをいれます>  
 最初にティージョイントを入れ次にティージョイントに連結フレーム左右穴無パイプを組んだものを入れ最後にエルボーを入れます。(組むには六角レンチを使用)



**B** <前フレームにパーツをいれます>  
 最初にティージョイントに連結フレーム左右穴有パイプを組んだものを入れます次にティージョイントを入れ最後にエルボーを入れます。(組むには六角レンチを使用)



**C** <後フレームとタワーフレームを組み合わせる>  
 後フレームとタワーフレームの各ティー&エルボに連結フレーム前後パイプを取付合体させます。  
 (組むには六角レンチを使用)

## 艇体にUボルト取付



純正のUボルトを外し  
 付属のUボルトを取付ます。



取り付ける際、純正のナットと  
 表と裏には純正の小判型ワッシャー  
 を使用します。



取付けたUボルトに連結プレート共通  
 のR溝をUボルトのRに合わせて  
 かぶせます。



かぶせた連結プレート共通の下側の  
 ネジに連結プレートFX用の穴を入れます



そのネジに黒い調整ツミで締めて  
 固定します。



固定した連結プレートFX用の先端の  
 2つの穴にラック本体の  
 連結フレーム左右穴有パイプを  
 上下して合わせます。(パイプが下側)



パイプの位置が決まったら  
 六角レンチで締めて固定します。



最後にプラスネヘビス、平ワッシャー  
 ナylonナットにて固定します。

## カムベルトで艇体にラッシング



艇体のトランサム部にある左右のUボルトに写真のように  
 カムベルトで左右しっかりと固定します。  
 ラック側のベルト位置は上側の連結フレームパイプに通します。

JL3500FX2のみ下記確認ください。  
 (JL3600FX2は必要ありません)



付属のロッドホルダーは  
 右写真のように  
 固定してください。

付属のショックコードは左写真の  
 ように回してバッグを固定して  
 ください。



# JL3500FX2 PWCフィッシングラック/JL3600FX2 PWCマルチラック 装着組立手順

このたびはファクトリーゼロ製品をお買い上げいただきありがとうございます。

組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

NO	品番	品名	数	税別価格/1個	■使用する工具
1	JL3500-1	タワーフレーム	1	15,000 +税	◎スパナ10番、+ドライバー ◎Uボルト部分スパナ12番 付属の六角棒レンチ
2	JL3500-2	後フレーム	1	12,000 +税	
3	JL3500-3	連結フレーム前後	4	3,000 +税	JL3500FX2に付属します。
4	JL3500-4	連結フレーム左右穴無	1	5,000 +税	
5	JL3500-5	連結フレーム左右穴有	1	6,000 +税	
6	JL3000X-06	90° TEE/7/8インチ(22φ)	8	1,700 +税	
7	JL3000X-07	90° ELBOW7/8インチ(22φ)	4	1,100 +税	
8	JL3500-6	M8/ブナット 調整ツマミK-53 ネジ部SUS	1	500 +税	
9	JL3500-7	連結プレート共通用ボルト溶接	1	6,000 +税	
10	SF0107	ショックコード フック付1M	1	300 +税	
11	JL3500-18	連結プレート 2011GTi&2012~FX用	1	5,000 +税	
12	JL3500-12	Uボルト P=48mm	1	4,000 +税	
13	P01-6-35	SUSプラスナベ6-35	2	70 +税	JL3500FX2に付属します。 JL3500FX2に付属します。 パーツ番号図には載っていません。
14	P15-06	SUSナイロソケットM6	2	62 +税	
15	P06-06	SUSワッシャーM6	2	6 +税	
16	JL3000X-15	六角レンチ 3mm	1	150 +税	
17	JL3500-16	ラッシングベルトカムタイプ 25mmx2.3M黒	2	1,200 +税	
18	JL3151	サーモバック2 TRANSPORTER	1	5,400 +税	
19	JL3210	ロッドホルダーパイプタイプ SUS	1	8,500 +税	
20	6608-1	クッションチューブ 360mm	2	550 +税	

## ■ラック組立手順

- A** 後フレームにパーツを入れ組立します。  
最初にTジョイントを両サイドに入れ、次にTジョイントに連結フレーム穴無パイプを組んだものを入れます。  
最後にエルボ-を入れます。Tジョイントやエルボ-は六角レンチで仮締めします。  
最初は各ネジ部は仮締めにて組立をしてください最初からきつく固定しますと最後にフレームが組み上がらなくなる場合があります。
- B** タワーフレームにパーツを入れ組立します。  
最初にTジョイントに連結フレーム穴有パイプを組んだものを入れ、次にTジョイントを両サイドに入れます。  
最初は各ネジ部は仮締めにて組立をしてください最初からきつく固定しますと最後にフレームが組み上がらなくなる場合があります。
- C** A、Bで組み立てた後フレームとタワーフレームを組み合わせる(合体する)  
後フレームとタワーフレームの各Tジョイントとエルボ-に連結フレーム前後パイプ4本を取付合体させます。  
最後に各部ネジを増し締めして完了です。

## ■艇体側Uボルト取付手順

純正のUボルトを外し付属されたUボルトを純正のナットと小判型ワッシャーを使用し取付ます。小判型ワッシャーは表と裏で2枚とも使用  
取り付けたUボルトに連結プレート共通用のRの溝にUボルトのRに合わせかぶせませす。  
かぶせた連結プレート共通用のネジに連結プレートFXの穴に入れ黒い調整ツマミで締めて固定  
固定した連結プレートFXの先端の2つの穴にラック本体の連結フレームを上下に移動し穴を合わせ位置が決まったら六角レンチで固定します。  
最後にプラスナベ、平ワッシャー、ナイロソケットにて固定します。

## ■カムベルトで艇体にラッシング

艇体のトランサム部にある左右のUボルトにカムベルトを通し左右しっかりと固定します。  
ラック側のベルト位置は上側の連結フレームパイプに通します。  
●ラック装着後は必ず一度試走しベルトの緩みやラックのズレ等、取付状態を確認してください。

## ■使用上の注意！

- ラック装着後は必ず一度試走しベルトの緩みやラックのズレ等、取付状態を確認してください。  
緩んでいたりズレていたら走行を中止し固定し直してください。
- マルチラックとして重量物を運搬の際は徐行にて走行してください。衝撃によりネジが緩んだり破損の原因になります。
- 本品を使用の際は、速度超過、急発進、不要な急ハンドル、不要な急減速をしないでください。  
急ハンドル、急減速等した場合は必ずラックの積載物や取付状態を確認してください。
- 長距離走行される場合は、荷物等にさらにロープ、ベルト等でしっかりと固定して走行してください。
- 走行する前に必ずネジ、ボルト、ベルトの点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用しますと事故や破損の原因になります。
- ラック使用の際は走行時適時ラックの安全確認し走行してください。
- 老化や破損等があるベルトの使用は大変危険です、その際は使用をやめてください。
- フィッシングをしない時は安全のためラックは必ず外してください。
- ラックを艇に装着したままでのトレーラー使用は大変危険ですでおやめください。
- この商品はPWCリアデッキ用です、その他には使用しないでください。
- 誤った取付、使用による事故等の責任は応じかねますので、ご了承ください。
- 波やウネリがある状態等、艇が跳ねるような状況では使用しないでください。艇が破損する恐れがあります。

## ■フィッシングの注意！

網に近づかない。荒天時は出航しない。  
漁船や乗合い船等に近づかない。  
単独は危険なので複数艇で行く。  
釣り糸、ペラ吸い込みに注意。  
あまり遠くへ行かない、沿岸でも十分に釣れます。  
釣りに夢中になり自分の位置や周囲を見落とさない。  
両手がふさがっている時が多クバランスを崩して落水しないよう注意。  
2人の場合特に不意にアンバランスになりやすいので声をかけましょう。

注:フィッシングや運搬等でラックを使用しない時はラックは艇体から外してください。

**ルールを守って楽しいフィッシング!**

クッションパッド



水に濡らすとパイプに差込みやすいです。